

未来へ 翔け

次世代の『ものづくり』を担う若者たち

県立伊万里実業高等学校

~Imari Vocational high school~

■質問内容

- ①高校時代の思い出
- ②建設業に就職しようと思ったきっかけは
- ③どんな社会人になりたいか



杉谷 大樹さん

【略歴】すぎたに・だいき。伊万里市立東陵中学校出身。野球部。取得資格は日本語ワープロ検定3級、情報処理検定（表計算）準2級、文章入力スピード認定（日本語）3級認定。伐木等の業務に係る特別教育終了、小型車両系建設機械。中村工業㈱に内定。

- ①高校時代の一番の思い出は体育祭です。団長を務め、最初はいまうまいかないことも多くありましたが、応援リーダーや他の団長と協力して、体育祭全体の成功に貢献できました。その成果もあり、応援優勝と総合優勝を勝ち取ることができました。つらくきついことを乗り越えて、全員で目標を達成できたことでとても楽しい思い出になりました。
- ②唐津市で行われた企業説明会で、建設業関係の仕事の話を聞いて興味を持ちました。また、県内の建設現場を見学して、人の生活を支える大きな建造物を作ることに魅力を感じ、自分も同じような仕事がしたいと思ったことがきっかけです。
- ③上司や先輩方と関わる機会の中で、しっかりコミュニケーションを取ることが大事だと思っています。そのための挨拶や礼儀をしっかりやっていこうと思います。その中で、いろいろな人と交流を深め、多くの人の役に立てる人材になりたいと思っています。



高田 海斗さん

【略歴】たかだ・かいと。伊万里市立伊万里中学校出身。取得資格は情報処理検定（表計算）準2級、小型車両系建設機械、小型フォークリフト運転特別教育修了、日本語ワープロ検定4級。黒木建設㈱に内定。

- ①2年生で行った修学旅行です。なかなか行くことができない京都や大阪を訪れ、金閣寺や清水寺など文化的な建造物を間近に見たときは感動しました。また、清水寺から見える京都の景色はとても綺麗だったことが印象に残っています。USJでは、友達と全力で楽しみ、高校時代の一歩の思い出となりました。
- ②高校の専門科目で土木について学ぶ中で、橋や道路など人の生活を支え、残っていくものをつくりたいと思うようになったことがきっかけです。また、現場見学や建設業紹介などでより興味が湧いたことも、進路を決めることにつながりました。
- ③人から信頼される社会人になりたいです。そのために、どんなことにも自ら進んで取り組み、自分で経験できることはなんでもやっていきたいと考えています。また、いろんな人と関わっていくことが自身の成長につながると思っているので、たくさんの現場に関わっていきたくと思っています。



松尾 咲希さん

【略歴】まつお・しゅうき。伊万里市立青嶺中学校出身。取得資格は日本語ワープロ検定3級、文章入力スピード認定（日本語）2級認定。伐木等の業務に係る特別教育終了。福岡県庁（林業三種）に内定。

- ①高校時代の思い出は、体育祭で応援リーダーを務めたことです。最初は練習で息が合わず、苦労しましたが、団長やリーダーたちと話し合い、みんなが楽しく練習に取り組めるような環境にしようと意識を統一することで、練習への意欲が高まりました。その成果から総合優勝することができ、一番の思い出になりました。
- ②高校の専門授業の中で、腰岳演習林に行っていました。演習林実習を通して、森林の大切さを知る中で、自然に関する仕事をしたいと思いました。また、どんな場所でもどんな仕事をするにも道路などの道が必要であり、林業の現場でも林道づくりは難しく、大事なものであることを知りました。福岡県庁でも林業と土木の学びを活かして頑張っていけます。それが佐賀の林業にもよい効果を与えていると思っています。
- ③私は公務員として、県民の方の生活が豊かになるよう貢献できる人になりたいと思っています。そのために、災害などで生活が困難になることが無いよう、適切で持続可能な森林管理に取り組み、安心した生活が送れるための仕事をしたいです。